

こころネットワーク

だより

議会を身近に わかりやすく

住み良いまちは みんなで作る

88号

2026年

冬号

寒さの中にも春の気配を感じる頃となりました。
皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。
年度末を迎え、暮らしや仕事の節目を迎える方も多いことと思います。
新しい季節が、希望と前進の春となりますように。
選挙を振り返り、これからも皆様のご意見を大切に活動してまいります。



突然の解散、衆議院選挙を終えて

あきらめない、へこたれない

先の衆議院議員選挙では、厳しい結果となりました。平岡秀夫にご支援いただいた皆さまに心より感謝申し上げますとともに、その期待に応えきれなかったことを真摯に受け止めています。

今回の選挙は、これまでとは明らかに様相が異なっていました。思えば兵庫県知事選挙や安芸高田市の選挙の頃から顕著になっており、ネットやSNSを通じた選挙戦。目の前に次々と流れてくる短い動画や刺激的な言葉を、私たちは無意識のうちに信じ、見れば見るほど同じ傾向の情報が表示されるアルゴリズムの中で判断しています。「推し活」という言葉に象徴されるように、政策よりも人物への共感や帰属意識が投票行動を左右する時代に入ったことを痛感しました。



一方で、私たちは物価高や減税、政治改革といった大きな争点を掲げながらも、それが地域の暮らしにどう直結するのかを十分に示しきれませんでした。急な真冬の解散総選挙、そして立憲と公明の合流による新党結成という大きな方針転換も、支持者の皆さまに説明と理解を得られたとは言えません。私たち自身でさえ整理しきれないまま選挙戦に突入し、結果として「何を目指す政党なのか」というイメージさえ明確に打ち出せなかったことは大きな反省です。小選挙区総取り方式の壁や比例戦略の限界もありましたが、それ以上に、ささる言葉、ささる戦略を持てなかったことが敗因だとも考えています。批判よりも具体策を、理念よりも実行への道筋を、そして何より丁寧な説明を尽くすこと。

信頼は一朝一夕には戻りませんが、今回の悔しさを出発点に、足元から挫けず頑張ってまいります。

12月定例会の質問より

観光や移住対策、子育て・・・

観光行政について、「快適に滞在できるまち」になっているかを質問しました。駐車場やトイレの整備、ロープウェイ利用時の階段の多さなど、誰もが安心して楽しめる環境づくりが必要です。また、DXやAIを活用した情報発信、体験メニューや滞在型観光の充実、車を持たない方への移動案内などを“見える化”することで、満足度向上につながると提言しました。

移住施策では、本郷地域で行われていた土地無償譲渡の終了を踏まえ、「岩国に住めば自分の財産になる」と実感できる新たな定住支援策を求めました。あわせて、障害のあるお子さんの子育て相談体制の充実や、外出先のバリアフリートイレ整備など、安心して出かけられる環境づくりを要望。

縦割りを超えた連携と相談しやすい体制づくり、パブリックコメント制度の周知・活用も求めました。

Youtube動画



3月一般質問 は

地域医療の充実と介護人材確保、潜在ケアマネの活用を提案。補聴器購入助成の評価と公共施設トイレ整備。宇野千代を生かした観光振興や山口DCキャンペーン、錦帯橋料金改定への対応。DXを活用した保育の安心対策と、認知症徘徊者発見への方策などを取り上げました。ぜひ傍聴にもお越しください

☆3/9(月)11時ごろから質問します。

メキシコ大使をお迎えして

女性政策がどうしたら進むのか

男女半々の議会 メキシコは女性の声をどう平和構築に届けているか？

1975年、メキシコで第1回国連世界女性会議が開催され、1995年には北京で第4回女性会議が開かれました。山口からも多くの女性が参加し、「北京行動綱領」が採択されました。その中で「女性と武力紛争」が強調され、軍事費の削減、平和文化の促進、難民女性や子どもの保護など、世界的な取り組みが進められています。しかし今なお、戦争は各地で続き、戦場では男女を問わず性暴力が繰り返されています。

2024年、女性として初めてメキシコ大統領に就任したクラウディア・シェインバウム氏。彼女の女性政策への姿勢をテーマに、

駐日メキシコ大使のメルバ・プリーア氏をお招きして講演会を開催しました。



フォーラムでメルバ大使は、会場を巡りながら「変えようと思うなら、あなた自身が変わらなければ」と参加者に語りかけました。女性大統領誕生や男女同数の政治の実現に至るメキシコの歩み、クオータ制導入への長い努力を紹介し「数字ばかりを見る日本の姿勢ではなく、社会を変えるのは一人ひとりの行動だ」と力強く訴えられました。女性の勇気ある行動が暴力根絶を進めた歴史から「女性は美しく、賢く、勇敢であれ」と締めくくられました。

★世界は広く、価値観は多様です。小さな枠で色を伺うのではなく、もっと多くの文化や考えに触れる機会を増やしたい。未来をどう描くのか、海外を一人旅するたびに強く感じています。★



政治不信？

お声かけに、改めて考えてみた事

選挙を通じて、立憲民主党は反対ばかりするじゃないですかとおっしゃる方ありました。

それに対してお伝えしたのは、

何でも賛成はチェック放棄。何でも反対も無責任。だから立憲は「**修正して実現する政治**」を貫いて活動してきていますよと。

また、

「反対ばかり」と言われますが、実は**80%近くの多くの法案に賛成**しています。“何でも反対”ではなく、“**良いものは進めて、問題は正す**”。**対決より解決**なのです。国民の利益を第一に、責任ある提案をずっと続けています。

結局、選挙をめぐるイメージ戦略かと思えますし「反対ばかり」とキーワードだけで信じておられるのはとても残念です。

ともかく

「反対が仕事ではありません。良い政策は進め、足りないところは直す。それが立憲の役割ですよ。」とお伝えしました。

あ と が き



少しずつ日差しがやわらかくなり、春の足音が聞こえてきました。

突然の解散総選挙となり慌ただしい日々が続きました。きっと皆様も驚かれたことでしょう。

暮らしやすい社会づくりには時間がかかりますが、小さな一歩を重ねることで、きっと道はどこかにつながるはずです。

新しい季節、また気持ちも新たに、皆さまと一緒に歩んでいきたいと思っています。

姫野敦子ところネットワーク事務所

〒741-0082 岩国市川西3丁目3-54



✉ nishikigawa@gmail.com 🌐 <https://himenoatsuko.com/>

☎ 0827-41-1320 (FAX兼)

次回は
姫野事務所にて

3/14(土)

14時から です

お気軽にお越しください

議 会 報 告 会

